|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
|  | **課題となる領域等** | **年間指導計画** | **単元指導計画** |  | **一単位時間の授業計画**  （学習集団を意識した毎日の授業づくり） |
| 第一学年 | 【領域：我が国の農業や水産業、我が国の工業生産】  （観点：「思考・判断・表現」、「主体的に学習に取り組む態度」）  既習事項との関連  ・地図や資料を読み取ることができる。  ・読み取ったことを、文章や言葉で説明することができる。 | ①地理「世界と日本の地域構成」、「世界の様々な地域」  （８月～２月）  ②歴史「武家政権の内と外」  （２月～３月） | ・図版資料等から「読み取る」学習場面を設定し、読み取ったことを文章で記述させる。  ・単元の終わりに思考力や判断力、表現力を養う題材に取り組ませ、自分の考えをまとめる活動をさせる。  ・資料から読み取ったことを、様々なツールを活用して他者に説明する場面を積極的に設ける。  ・授業ごと、単元ごとに学習の振り返りを行い、学習内容と自身の  学びの様相の二点について振り返らせる。 | ・抽象的な内容や細かな事柄が網羅的に扱われ、用語の暗記や教師  の解説に終始することがないよう、用語等の意味や価値を考えさ  せ、生徒自身の言葉で表現させることにより、確かな理解を促す。  ・ワークシートを用いて学習状況を把握し、個に応じた支援を行う。  【地理】  ・諸資料から、日本の食糧生産について、品種改良や自給率の低さの理由とその対策等について読み取らせ、考察させ、表現させる。  【歴史】  ・武家政権の特色を諸資料から読み取り、言葉や図で表す。 |
| 第二学年 | 【領域：地理「世界のさまざまな地域」  歴史「古代、中世」】  （観点：知識・技能）  既習事項との関連  ・学習した内容を理解し知識として身に付けている。  （観点：思考・判断・表現  主体的に学習に取り組む態度）  既習事項との関連  ・資料を読み取り考察する。 | 1. 地理「日本の諸地域」   （８月～３月）  ②歴史「近世の日本」  「開国と近代日本の歩み」  （８月～３月） | ・写真や地図、図や絵、表、グラフ等の資料から「読み取る」学習場面を設定する。読み取ったことを文章で記述させる。  ・思考力や判断力を養う題材に取り組ませ、自分の考えをまとめる活動をさせる。  ・資料から読み取ったことを他者に説明したりする場面を、単元の中でいくつか設定する。 | 【地理】  ・写真や地図、グラフ等の資料から日本の各地方の特色を読み取り、言葉や図で表す活動をさせる。  ・ワークシートを用いて生徒個々の学習状況を把握し、一人一人の学習状況に応じた手立てを講じてゆく。  【歴史】  ・近世の日本や開国して近代化を進める日本の歴史的な特色を、図や絵、表、グラフ等の資料から読み取り、言葉や図で表す活動をさせる。  ・ワークシートを用いて生徒個々の学習状況を把握し、一人一人の学習状況に応じた手立てを講じてゆく。 |
| 第三学年 | 【領域：地理「日本のさまざまな地域」  歴史「近世、近代」】  （観点：知識・技能）  既習事項との関連  ・学習した内容を理解し知識として身に付けている。  （観点：思考・判断・表現、  主体的に学習に取り組む態度）  既習事項との関連  ・資料を読み取り考察する。 | 公民  「現代社会と文化」「日本国憲法」「基本的人権の尊重」  （8月～10月）  「企業と経済」（11月）  「国際社会」「課題の探究」  （1月～３月） | ・単元ごとに学習内容を振り返り確認する時間を設け、知識の一層の定着を図る。  ・練習問題を解くなど学習内容を復習する時間を設け、知識の確認と一層の定着を図る。  ・単元ごとに、資料や既習の知識から考察したことを文章や口頭で述べる活動を設定する。 | ・「本日の学習活動で分かったこと」など、学習内容を生徒自身が振り返り確認する場面を設ける。  ・ワークシートを用いて、学習内容を生徒が繰り返し復習できるようにする。  ・「資料から分かること」を、ワークシートに記述させたり、口頭で発表させたりする。また、「本日の学習活動で考えたこと」や「この単元で学んだこと」などを文章や口頭で述べる活動を行う。 |

４

**３**

２

１

**授業改善プラン**

**第八中学校　社会科　授業改善プラン**